

連携開設科目「DX概論」（試行）を実施

連携開設科目「DX概論」を、今年度も「域学共創ワークショップ」の中で試行しました。昨年度は山口大学からのオンライン配信により実施しましたが、今年度は担当教員である山口大学DX人材育成推進室副室長湯浅准教授が、4回にわたって本学で対面授業を行いました。

「DXと社会変化」、「山口県の企業における先進的な取組み」（2件の事例）、「これからのDX」をテーマに、現状と未来を聞くことができ、学生のモチベーションやDXに対する理解が進みました。

連携開設科目の実施方法は、原則オンラインとすることとなっていますが、昨年度・今年度の施行を検証した結果、一部対面方式も取り入れる方向で検討を進めています。



DXによるPBL企画運営に関する合同FD研修会の開催

3大学合同のFD研修会を本学で開催します。共同開設科目「DXによる地域課題解決（PBL）」を進める上で、データとデジタル技術をどのように活用していくのかについて、山口大学DX人材育成推進室副室長の湯浅准教授が講演を行います。湯浅先生が企業で取り組んできたDX実例の紹介なども盛り込みながら、DS/DXを取り入れたプロジェクトの授業企画や運営について考える機会とします。多くの方の参加をお願いいたします。

日時：2025年2月13日（木）13:00～14:00

場所：3号館C311教室

講師：山口大学DX人材育成推進室副室長 湯浅修一准教授

演題：DXによる地域課題解決(PBL)～データとデジタル技術の活用を織り込んだPBLの進め方に関する提案～（仮）

申し込み：全学メールでお伝えしたとおり、以下のURLにて1月27日までに申し込みください。

<https://forms.office.com/r/B8r9U10c wd>

DXによる課題解決（PBL）FD・合同発表会を本学で開催

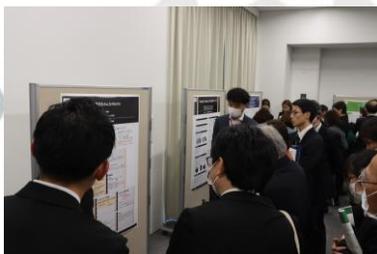
3大学の共同開設科目である「DXによる課題解決（PBL）」については、昨年度、合同発表会をKDDI維新ホールで開催しました。第2回目となる合同発表会は、本学において以下のとおり開催する予定です。FDも同時開催します。

日時：2025年2月13日（木）14:15～17:00（開場12:00）

場所：山口県立大学厚生棟

申し込み：1月20日までに <https://forms.gle/BfXv vjWp5n134rz68> からお願いします。

3大学の学生が取り組んだPBLの成果については、ポスター発表で紹介いたします。昨年度と大きく変わった点として、今年度は県内の企業・団体の方々にご参加いただき、約15のテーブルに分かれて、学生と設定したテーマに沿って意見交換を行う「テーブルトーク」を実施することとしました。



山口大学・山口県立大学・山口学芸大学
DXによるPBL合同発表会

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学の3大学が、毎年4年連続「地域活性化人材育成推進室（SPARC）」に運営され、人間中心の視点からDXを推進し、DXや地域の課題解決のために課題で各人材（文筆・DX人材）の育成を支援しています。この際、協賛の企画を実施し、協賛の開催することを目的とした、3大学合同開催（PBL）の開催です。3大学の合同開催となります。

各大学のポスターによるテーマ発表を行い、同じ学部・専攻・専攻分野によるグループワークを行います。また、各大学の合同発表会を開催いたします。

※PBLとは、Project Based Learningの略で、課題解決学習のことです。各大学のPBLが、各大学の課題解決に向けた取り組みのプロジェクトです。

日時	2025年2月13日（木）14:15～17:00（開場12:00）
会場	山口県立大学 山口市若狭6丁目2-1 厚生棟 ※各大学のポスター発表は別棟で行われます。
対象者	企業・団体・自治体等の関係者、 高等学校関係者、3大学の学生・教職員
プログラム	14:15 …… 開会あいさつ 14:20 …… SPARC及びPBLについての説明 14:30 …… PBLポスター発表 15:30 …… PBLテーブルトーク ※各大学のPBLについて企業者と学生が意見交換を行います。 16:55 …… 閉会あいさつ 17:10 …… 交流会（自由参加・会費不要）

発表会のお申し込みはこちら

QRコード 1月20日まで

<https://forms.gle/BfXv vjWp5n134rz68>

お問い合わせ

山口県立大学 SPARC推進室
TEL: 083-929-6264
mail: sparc.kendai@ip4.yamaguchi-u.ac.jp

協賛

PBL合同発表会（昨年度の様子）

令和6年度地域活性化人材育成事業～SPARC～全国シンポジウムを山口市で開催（2025.3.6-7）

やまぐち共創大学コンソーシアムほか全国の大学等連携推進法人では、3月6日（木）、7日（金）の両日、全国シンポジウムを山口市のKDDI維新ホールにおいて開催します。初日の3月6日には、学校法人東京家政学院の吉武博通理事長が「法人連携の在り方について（仮）」と題して講演を行います。2日目の3月7日には、連携開設科目、PBL、リカレント教育を円滑に実施するための課題や課題への対応等をテーマにディスカッションを行います。

詳細内容や申し込みなどについては、決定後お知らせしますので、ご参加いただけますようお願いいたします。

「2024産学協力人材養成国際カンファレンスin慶南大学校」に参加

慶南大学校が主催するカンファレンスに参加し、本学の取組を紹介するとともにPBLを効率的に実施する手法等について、参加大学との間で情報交換を行いました。10月29日は、田中マキ子学長が「山口県立大学が養成する文系DX人材」と題して、本学が目指す「文理融合型DX人材」の取組や国際文化学部の新たなスタートについて紹介しました。続いて吉永先生が「文系人材としての新しい教養：デジタルコミュニケーター」と題して、新学科の情報社会学科が育成する「テクノロジーコミュニケーター」の特徴や情報社会学科のコンセプト、新学科が向き合い解決すべき社会問題等について講演を行いました。

今回の訪韓では慶南大学校総長訪問に加えて、学術交流協定10周年を迎えた釜山大学校の総長も訪問し、今後の交流の活発化について意見交換を行いました。

1月15日、16日には、慶南大学校からの依頼を受け、韓国起業家教育協議会が主催する“G-STAR”(Global Startup Training Program)のスタディツアーが実施され、韓国の16大学の教職員と学生が本学を訪問します。2日間のプログラムでは、山口県の創業・スタートアップ支援に関する取組についての講演を行うほか、本学の学生と一緒に市内4か所でフィールドワークを実施し、交流を深めます。

1月16日には地域連携について事例発表を行うフォーラムを開催します。



令和7年度のSPARC教育プログラム本格実施に向けて (ウェブサイトをご覧ください)

令和7年度のSPARC教育プログラム本格実施に向けて、コンソーシアムの「連携教育プログラム委員会」では円滑に実施できるよう検討を行ってきました。特に連携開設科目の実施に当たっては、3大学で実施方法等を共有する必要があることから、

- ①「SPARC教育プログラム連携開設科目の実施要項」
- ②「カウンターパート教職員の対応事項」
- ③「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム社員間における学生の個人情報の取扱いについて」
- ④「決議事項の送付について」
- ⑤「台風等の自然災害発生時における各大学の休講対応について」

を決定したところです。これらの関係教職員が知っておくべき事項は、準備が整い次第、本学のウェブサイトに掲載します。

これらも含めたSPARC事業については、「学内限定」→「教職員向け」→「YPU教育ポータルページ」→「SPARC教育プログラム」へ掲載する予定です。

編集後記

2025年の新春を迎え、初春のお喜び申し上げますとともに、幸多い年となりますようお祈りいたします。SPARC事業は当初の3年間を終え、残り3年となります。4月からは新学科「情報社会学科」の第1期生を迎えるとともに、SPARC教育プログラムが本格的にスタートします。

SPARC推進室では山口大学、山口学芸大学との協議を続け、新プログラムが円滑にスタートできるよう準備を進めています。

これからますます高度化する情報社会が求める人材育成に取り組むという使命感を持って、事業を推進していきますので、ご協力をお願いいたします。